株主の皆様へ

第112期 中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

山陽特殊製鋼株式会社

証券コード | 5481

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

ここに、第112期第2四半期(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の営業の概況等をご報告申しあげます。

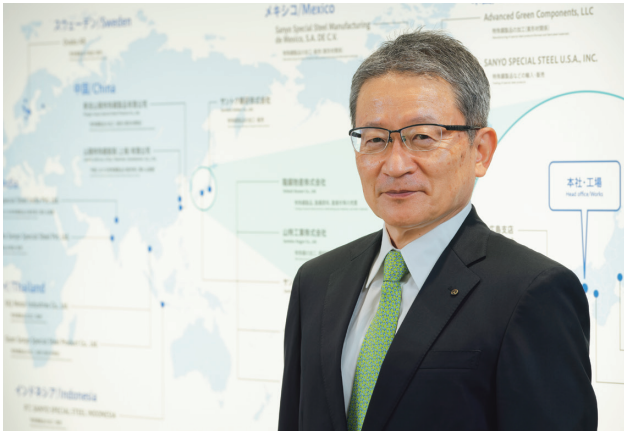
営業の概況

当第2四半期の特殊鋼業界では、半導体不足の緩和により自動車生産は回復しているものの、その度合いが緩やかであることに加えて、設備投資マインド低下等から建設機械・産業機械業界の在庫調整が継続したことなどにより、特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量は、前年同期を下回りました。

こうした中、当社グループの売上高は、エネルギーサーチャージ等の適用に伴う販売価格の上昇はありましたが、需要家の在庫調整の継続を受けた売上数量の減少などにより、前年同期比102億円減の1,853億円となりました。

利益面では、売上数量の減少や原燃料価格の上昇、諸資材等へのインフレ影響に加えて、スウェーデンの連結子会社Ovakoの売上数量の減少や前期に発生した一過性増益影響の縮小などにより、経常利益は、前年同期比59億円減の78億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比46億円減の52億円となりました。

中間配当につきましては、2023年7月28日に公表しました配当予想のとおり1株につき35円とさせていただきました。



代表取締役社長　宮本 勝弘

今後の見通し

今後につきましては、自動車生産は緩やかな回復が継続すると見込まれるものの、鉄スクラップ価格が前回想定よりもやや高位となり、また欧州の景気悪化や中国経済減速の継続等による特殊鋼需要回復の遅れが見込まれるなど、事業環境は厳しい状況が続くと想定されます。

このような中、コスト削減等の必要な対策を講じ、実質的に前期並み(注1)となる連結経常利益200億円を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申しあげます。

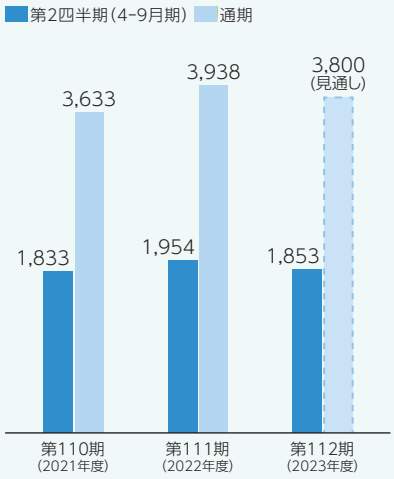
2023年11月

(注1)Ovakoの一過性影響を除く連結経常利益193億円
(注2)本報告書に記載している業績予想および配当予想につきましては、策定時点(2023年10月31日)において入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確実要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

業績ハイライト

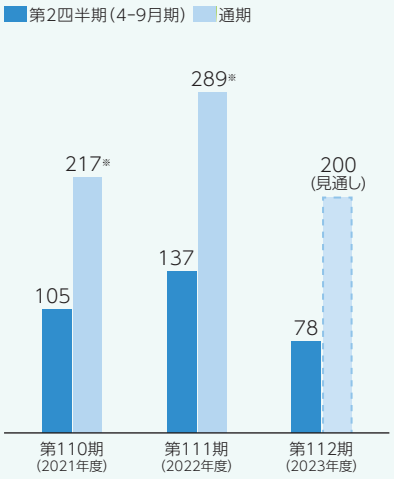
連結売上高

(億円)



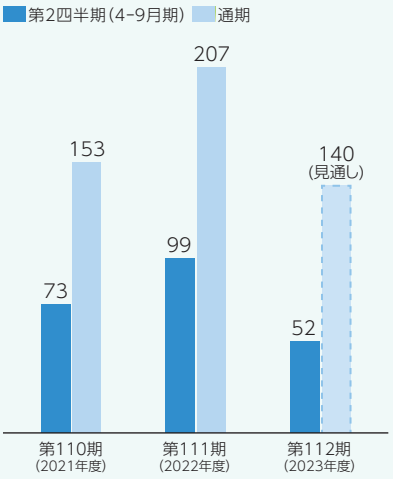
連結経常利益

(億円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(億円)

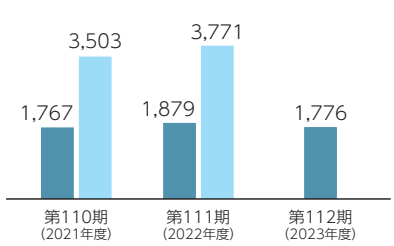


※Ovakoの一過性影響を含む
(2021年度18億円、2022年度96億円)

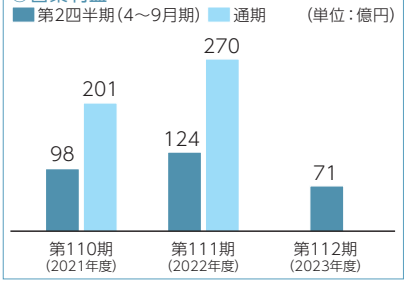
セグメント情報

鋼材事業

○売上高

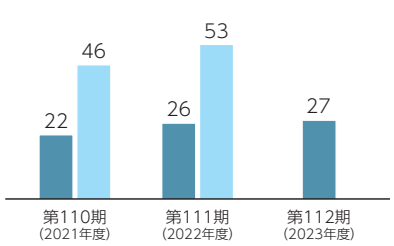


○営業利益

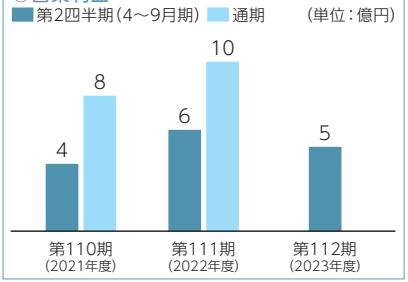


粉末事業

○売上高

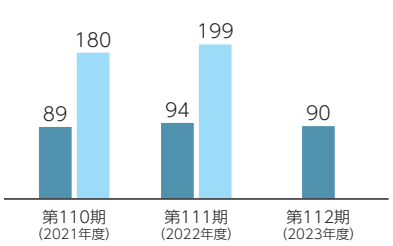


○営業利益

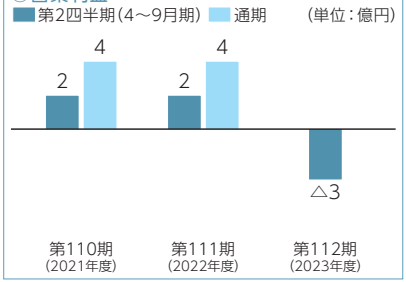


素形材事業

○売上高



○営業利益



第２四半期決算の概要

連結損益の概要

(単位：億円)

	第112期第2四半期（2023年度上期）	第111期第2四半期（2022年度上期）	増減	増減率(%)
売上数量(千トン)	**739**	812	−73	−9.0
売上高	**1,853**	1,954	−102	−5.2
営業利益	**73**	132	−59	−44.4
経常利益	**78**	137	−59	−43.1
内、当社単独	**69**	70	−1	−0.8
内、Ovako	**51**	89	−39	−43.2
内、SSMI	**3**	△2	+5	−
内、のれん償却費	**△16**	△14	−2	−
親会社株主に帰属する四半期純利益	**52**	99	−46	−47.0
のれん償却費を除く親会社株主に帰属する四半期純利益	**68**	113	−45	−39.6

連結貸借対照表の概要

(単位：億円)

	第112期第2四半期末（2023年9月30日）	第111期期末（2023年3月31日）	増減
資産の部			
流動資産	2,364	2,417	−53
固定資産	1,674	1,595	+79
資産合計	**4,038**	**4,012**	**+26**
負債の部			
流動負債	1,411	1,474	−62
固定負債	383	378	+5
負債合計	**1,794**	**1,852**	**−58**
純資産の部			
株主資本	2,064	2,063	+1
その他の包括利益累計額	160	81	+79
非支配株主持分	20	17	+3
純資産合計	**2,244**	**2,160**	**+83**
負債純資産合計	**4,038**	**4,012**	**+26**

通期業績予想および配当予想

業績予想

(単位：億円、%)

	2023年度業績予想（2023年10月31日公表）		
	上期（実績）	下期（予想）	通期（予想）
売上高	1,853	1,947	**3,800**
営業利益	73	127	**200**
経常利益	78	122	**200**
内、当社単独	69	64	**133**
内、Ovako	51	59	**110**
内、SSMI	3	4	**7**
内、のれん償却費	△16	△16	**△32**
親会社株主に帰属する当期純利益	52	88	**140**
ROE（%）			**6.3**
のれん償却費を除く 親会社株主に帰属する当期純利益	68	104	**172**
ROE（%）			**7.8**

【予想の主要前提（2023年10月以降）】
・鉄スクラップ（購入）　50.0千円/t（姫路地区H2市況）
・原油（ドバイ）　90$/BL
・為替　145円/$、154円/€

配当予想

	2023年度中間配当および期末配当予想（2023年10月31日公表）		
	中間（実績）	期末（予想）	通期（予想）
1株当たり配当金	**35.0円**	**65.0円**	**100.0円**

2025年中期経営計画見直し

当社は、グローバルな特殊鋼マーケットでの企業価値の更なる向上を目指し、2021～2025年度を実行期間とする、2025年中期経営計画を策定し実行してまいりましたが、当初の計画策定後、資源価格のインフレ（鉄鋼需給とのデカップリング）、人的資源の制約拡大、EV化・カーボンニュートラルの加速化など、大きな環境変化が起こっていること、足下の業績が当初の計画を過達していることを踏まえ、2025年中期経営計画を見直しました。

中期経営計画見直しの骨子

事業環境の変化

- 資源価格のインフレと鉄鋼需給とのデカップリング
- カーボンニュートラル
- 人的資源の制約拡大

5つの柱

1. グローバルでの企業価値・プレゼンスの更なる向上
2. 国内・海外事業収益力強化
3. ESGの取り組み強化
4. 2050年カーボンニュートラルの実現
5. DX推進

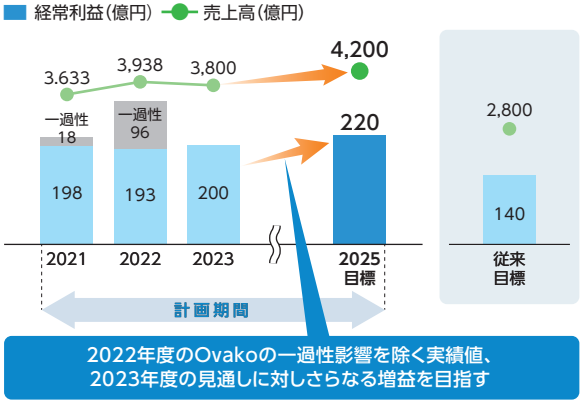
財務目標（2025年度）

売上高	4,200億円 程度
経常利益	220億円 程度
ROE	7% 程度
ROE（のれん償却除き）	8% 程度

経営資源投入

設備投資（2023-2025年度）	160億円/年 程度
従業員数（2025年度末）	6,500人 程度

中期経営計画の進捗と新たな目標



PBR1倍に向けた取り組み

ROE × PER ＝ PBR

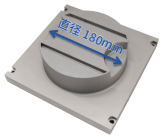
- 持続的な利益成長 × さらなる成長機会の探索
- 投資家との継続的な対話を通じ、カーボンニュートラルやESG取り組み状況を訴求
  ▶株価への反映を目指す
- 政策保有株式の保有見直しによる流通株式比率向上
  ▶資本コスト軽減を図る
- 配当方針の改定
  ▶連結配当性向35%程度、のれん償却除き30%程度
  一株当たりの配当額水準も考慮
- 2025年度ROE目標を8%に見直し（のれん償却除き）

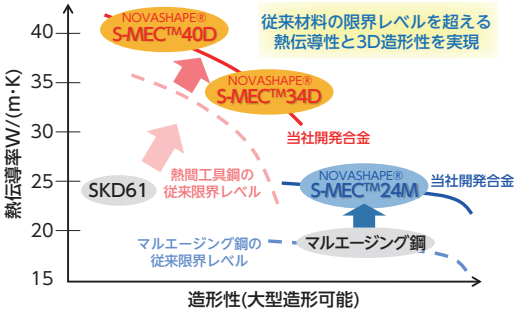
欧州子会社 Ovako
カーボンフリー水素プラントが完成

スウェーデンのHofors（ホーフォーシュ）工場で建設を進めていたカーボンフリー水素プラントが完成し、2023年9月5日に スウェーデンのクリスターソン首相をはじめとする多数の来賓列席のもと、開所式を挙行しました。このプラントは、脱化石電力を活用した水の電気分解によって毎時約4千㎥のカーボンフリー水素を生成する能力を有し、生成した水素を特殊鋼製造の燃料として活用することで、OvakoはHofors工場の加熱工程で排出するCO_2を大幅に削減することが可能となります。

3Dプリンター用金属粉末NOVASHAPE®シリーズ
高熱伝導性ダイカスト金型用合金粉末
(S-MEC™シリーズ)を商品化

ダイカスト成形のサイクルタイム短縮や大型金型の3D造形を可能とする、高熱伝導性ダイカスト金型用3Dプリンター粉末のラインナップを商品化しました。これら当社の新商品を3Dプリンターによるダイカスト金型の造形に使用することで、ダイカスト成形時に金型を効果的に冷却することが可能となり、サイクルタイム短縮による生産性向上や金型の長寿命化が期待できます。また、高い熱伝導性と優れた造形性の双方を実現したことで、大型金型への3D造形適用も可能となります。





詳細はこちら

インド子会社 SSMI　再エネ由来電力の購入契約を締結

インドで特殊鋼製造・販売の事業を営む子会社Sanyo Special Steel Manufacturing India Pvt. Ltd.（SSMI）は、インド最大の総合電力企業Tata Power Company Limitedの子会社であるTata Power Renewable Energy Limited（TPREL）と、太陽光発電による再エネ由来電力の購入契約を締結しました。

SSMIは2024年3月から61.875百万KWh/年の再エネ電力を購入し、自社の特殊鋼製造工程に使用することで、最大4万トン/年のCO_2排出量を削減できる見込みです。

詳細はこちら▶

株　式　情　報

■株式の状況

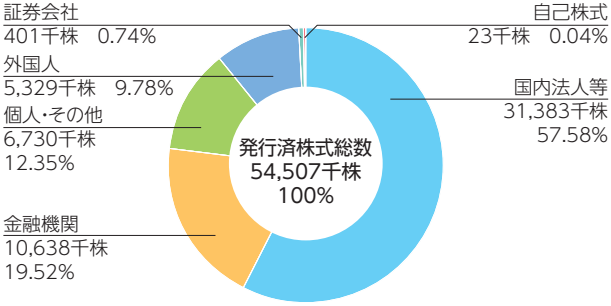
2023年9月30日現在

発行可能株式総数 …… 94,878,400株

発行済株式の総数 …… 54,507,307株

株主数 …… 10,284名

株式の所有者別分布状況



大株主

株 主 名	持株数(千株)	議決権比率(%)
日本製鉄株式会社	28,863	53.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,751	6.90
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,930	5.39
山陽特殊製鋼共栄会	2,735	5.03
山陽特殊製鋼従業員持株会	776	1.43
株式会社三井住友銀行	639	1.18
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	621	1.14
株式会社三菱UFJ銀行	569	1.05
野村信託銀行株式会社(投信口)	508	0.94
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	503	0.92

※持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

■株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月中
同基準日	3月31日
剰余金の配当の基準日	中間配当　9月30日 期末配当　3月31日
公告方法	電子公告 【当社ウェブサイト】 https://www.sanyo-steel.co.jp 事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード 5481)
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
(事務取扱場所)	〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(お問合せ先)	【フリーダイヤル】0120-782-031 受付時間 9:00～17:00(土日休日を除く)

(インターネットホームページURL)
https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

(よくあるご質問(FAQ))
https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal